

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	洲本市立安乎小学校 主幹教諭 二坪 晃正	研究グループ名 ( 平安会 )
-----------------	-------------------------	--------------------

研究テーマ分類番号 ( 1 )

(1)研究テーマ
算数の学力向上をめざして
(2)研究経過及び具体的な取組
<p>6月22日(金) 全体計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の方向：チーム全員で共通理解しながら、研究を進める。</li> <li>・課題の把握：児童の実態から、課題を見つける。</li> <li>・研究の方法：先進校・実践例から学ぶ。教材教具の効果的な活用を進める。</li> </ul> <p>7月27日(金) 学習タイムの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究方法：学級内のバラツキについて研究する</li> <li>・研究結果：同じ時間で練習問題をすると、個人差がでる。すべての子どもを伸ばし、底辺の子どもの学力を上げるためには、問題の量と質を考えていく必要がある。</li> </ul> <p>8月24日(金) 家庭学習の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究方法：家庭と連携して研究する</li> <li>・研究結果：学習習慣を身につけさせるには、課題の与え方と保護者の姿勢が大切である。保護者の支援の言葉がけによって、家庭学習の効果が違ってくる。</li> </ul> <p>9月28日(金) 学習指導案の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究方法：実践例の研究をする</li> <li>・研究結果：実践例を集め、授業研究をするには、どんな指導案がよいか検討した。再現ができる指導案が、詳しく書かれていた。</li> </ul> <p>10月19日(金) 教材教具の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究方法：手作り教材やICTの研究をする</li> <li>・研究結果：水道方式のタイル・電子黒板・デジタル教科書等を効果的に活用することで、授業での興味関心が高まった。</li> </ul> <p>中間のまとめ</p> <p>学力を向上させるためには、教師が目的意識を持ち、指導することが大切である。また、到達度を決めて指導することで効果が上がり、子どものやる気が出てきた。今後、授業研究を通して、基礎・基本の定着や活用力について研究していく。</p>